

2014年6月16日  
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報(2014年24号)  
マラカナン競技場でのW杯試合開催に係る注意事項について

1 抗議デモの発生

州警察によれば、15日、リオ市内マラカナン競技場でのワールドカップ初戦（アルゼンチン・ボスニア戦）に合わせ、同競技場近くのサンス・ペナ地区サンス・ペナ広場において、覆面を装着した男たちを含む計約300人が集結し、抗議デモが行われました。その後、デモ隊はマラカナン競技場に向けて移動して、競技場直近で規制区内に入ろうとしたところ、機動隊との抗争に発展しました。

その際、一部の過激なメンバーが、機動隊に向けて火炎瓶を投げるなどして現場は一時騒然としました。機動隊は催涙ガス弾及びスプレーで応戦し、最終的に3人を逮捕しています。その後、一部の過激なメンバーは、商店街に移動し、ゴミ箱等に放火したほか、銀行、商店等に投石するなどして破壊行為に及んでいます。

2 不法侵入等による逮捕事案の発生

(1) 競技場内においては、試合開始前に、アルゼンチン・サポーター約20人がチケットを持たずにゲートになだれ込み、不法に侵入する事案が発生、そのうち、文民警察は約9人を発見し、逮捕しました。

(2) また、軍警察及び文民警察は、試合終了後にピッチ内に入ろうとした男5人を逮捕したほか、競技場周辺で不法にチケット（一枚あたり3,400\$～4,300\$（約34万円～43万円）を売りさばこうとしていた外国籍の男4人を逮捕しています。

3 注意事項

- 次回マラカナン競技場での試合開催時（18日：16:00～スペイン・チリ戦）においても、抗議デモが開催される可能性があります。テレビやインターネットで最新の情報を入手し、デモが開催されるような様子を察知した際は直ちに安全な場所に退避するようお願いします。
- 会場周辺でのFIFA公式グッズの偽物販売、チケットに係るダフ行為等は犯罪です。決して関わることをしないよう注意してください。